

課題番号5

基本方針：I		課題名：宇陀産ブランド米の育成	
対象：宇陀米ブランド化協議会		計画期間：R3～R5	
		事務所名：東部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R4年度末）	
①肥培管理の統一	<ul style="list-style-type: none"> ・実証圃設置 ・巡回指導 ・収量調査 	協議会が示す施肥基準への取組割合 0% → 43%	
②販売量の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・実証圃設置 ・検討、講習会 ・PR活動支援 	販売量 10t → 18t	
③食味値の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 ・講習会 	食味値75以上の割合 20% → 84%	

総合評価（コメント）

A：5名

- 有機の里 宇陀市というイメージづくりに大きく貢献できる素材と思います。そうした視野から積極的に、いろんな団体を巻き込んで、宇陀市全体のイメージアップにも貢献してください。そうしたことも普及課題に入れてもらってもよいぐらいと思います。
- 肥培管理の徹底と新規取組者の拡大により生産者の所得拡大に繋げていただきたい。
- 販売量の拡大に向けては作付面積を増やす事が必要であり、今後ますます理解者を増やしていくことが大切と思う。
- 協議会のメンバーでの統一した製品が収益の向上に繋がると思います。

B：1名

- 今回は成果目標を達成できなかったが、R6年はブランド米の販売量が拡大により、生産拡大を進める予定というのは喜ばしい。宇陀産ブランド米が周知される。

普及指導計画への反映状況等

- 作成した栽培暦の浸透を図ることで宇陀米の品質向上を支援するとともに、経営指標の作成等を行い、宇陀米生産の優位性をアピールすることで新規取組者の拡大につなげる。
- 来年度から、宇陀市役所が中心となり、農業経営者、農機具メーカーの協力の下、有機米の栽培技術実証（主に除草対策）に取り組むこととなっており、東部農林振興事務所としても普及指導計画に位置づけて協力する。